

まるこやま

第67号

令和3年5月20日

〒699-1251
雲南市大東町大東2419-1
大東交流センター
TEL(0854)43-2130



E-mail:daito-c@hotmail.yoitoko.jp
http://user.yoitoko.jp/daito-c/

大東交流センターだより

発行：大東地区自治振興協議会

伸び伸びと遊ぶがよろしきこのもの日
春うらら子等駆けのぼる滑り台

福間たかを



大東公園
丸子山ちびっこ広場



しらゆり保育園 (松江市) 遠足

新型コロナワクチン 接種に関するお知らせ



雲南市広報より

集団接種予約日程表 ***** 80歳以上の方から順に予約を受付ます *****

※予約時に確認させていただくこと

接種券番号/住所
氏名/生年月日
電話番号/接種会場
接種日/送迎の可否

予約方法① 電話

雲南市ワクチン接種コールセンター
Tel.050-3819-6533
受付時間：9時～18時（日・祝日除く）

予約方法② インターネット

予約受付 Web サイト
<https://jump.mrso.jp/322091/>



対象者・予約開始	予約開始 5/12(水)12:00～	予約開始 5/24(月)12:00～	予約開始 6/7(月)12:00～	予約開始 6/21(月)12:00～
80歳以上 (S17.4.1以前生まれ)	<u>予約できる接種日</u> 5/24(月)～6/19(土)	<u>予約できる接種日</u> 6/21(月) ? 7/10(土)	<u>予約できる接種日</u> 7/12(月) ? 7/31(土)	<u>予約できる接種日</u> 8/2(月)以降
70歳以上 (S27.4.1以前生まれ)	予約できません			
65歳以上 (S32.4.1以前生まれ)	予約できません	予約できません		

※2回接種が必要です。1回目の接種は7月末までを目安にご予約ください。
 ※自家用車等で移動が困難な方は乗合タクシーなどで送迎いたします。（無料：先着順/事前予約）
 ※年齢区分は、予約の混雑を緩和するために設けさせていただきますので、ご理解ご協力をお願いいたします。
 ※65歳以上の方で付き添いやご夫婦等と同じ日程の接種希望など、予約に関する相談は、雲南市ワクチン接種コールセンター（Tel.050-3819-6533）へご連絡ください。
 ※2回目の接種は1回目の接種後に会場でご予約ください。（接種間隔は3週間以上）

新型コロナワクチン接種会場

■大東地域交流センター

5月31日
6月1日・2日・3日・4日・21日・22日・23日・24日・25日
7月12日・13日・14日・15日・16日
8月2日・3日・4日・5日・6日・23日・24日・25日・27日

■その他の会場

加茂文化ホールラメール
加茂健康福祉センターかもてらす
木次総合センター
アスパル駐車場特設会場
吉田健康福祉センター
掛合交流センター

ギャラリーランドスケープ

日本の豊かな原風景を描き求めて現在の大原森林組合事務所の隣にアトリエを構え、生活を送られるようになって25年余り。2018年に急逝された洋画家阿蒜隆之氏と活動を共にしてこられた奥さんの祐子さんがその意志を継ぎ、活動拠点である古典技法絵画研究所の一部を改装してギャラリーを4月にオープンされました。これから阿蒜隆之遺作常設展示や古典技法絵画研究所会員のみなさんと共に制作・育成・発表の場にと考えておられます。どうぞ訪れてみてください。

（要予約Tel/Fax 0854-43-6962）





県道松江木次線バイパスの整備で平成16年度に竣工した「大東おおぎ橋」。右岸橋台には「おおぎは、末広がりの扇。古来からの縁起物とされている。そして、橋梁名に大東を残し、“未来への発展のかけはし”としてイメージし、平成16年夏、30件以上の公募の中から大東おおぎ橋とすることに決定しました」と記されています。

また、大東高校美術部2年生5名による「大東の四季」が右岸橋台に描かれています。「大東おおぎ橋を訪れると、幸せな気持ちになったり、夢がかなったりするような憩いの場になり、ふたたび訪れてみたくなるように！」とのメッセージが添えられています。



左から右へ春のアジサイ、雨傘、チューリップ、夏の七夕祭、花火、秋の中秋の名月、ススキ、紅葉、冬の雪だるま、トナカイが描かれています



アユのつかみ取りイベント



地産地消 新鮮野菜で元気モリモリ

大東モリモリ奥出雲出荷者会 会長：永瀬 康典

Aコープだいたい店内にある産直コーナー「大東モリモリ奥出雲」をご利用いただき誠に有難うございます。大東モリモリ奥出雲は大東町内の農産物生産者200人が出荷者会員となり、新鮮野菜、漬け物等加工品を出荷し町内消費者に届けています。

出荷者会員は町内在住者ですから農産物はすべて地物（じもの）で新鮮で美味しいと皆様からよろこ

ばれています。一昨年から大東地区：瀧はるみさんにお越しの商品管理者として、商品棚の整理整頓、冷蔵食品棚の拭

き掃除、陳列等、皆様に安全・安心な商品を届けるため日曜日を除く毎日頑張ってもらっています。

今の時期は夏野菜ができるまでの端境期のため商品がやや少なめですが、6月からは本格的な夏野菜の時機到来で、キュウリ、ナス、トマト等美味しい地物野菜がたくさん出ますのでご期待ください。

現在、大東モリモリ奥出雲では新規会員を募集しております。家庭菜園で消費しきれない野菜等があれば数量は問いませんので出荷してください。問い合わせは大東グリーンセンター（TEL:43-2003）です。



全国からの お便り



大東離れて48年

神戸市中央区(金成出身)
鏝木 基成 (S29年生)

気がつけば、進学に伴い大東を離れて48年。大阪での大学生生活を経て、アメリカ、高松、姫路、相生、そして神戸での20年と、ずっと教育・研究生活に身を置いてきました。昨年、定年退職し、今は神戸でコロナ禍での自粛生活を送っています。在職中は仕事で多忙な毎日を過ごしてきましたが、現在は時間に縛られない中で、今まで後回しにしていた研究成果をまとめたり、大学研究室の後片付けなどをしています。しかし、急にこの5月から元の職場で非常勤の仕事をする事になりました。もうしばらくは本当の意味でのんびりする事はできないようです。

今回、この「全国からのお便り」コーナーへの寄稿のお話をいただいた訳ですが、「大東」について思い起こす事はいろいろあります。

子どもの頃の一番の思い出はやはり、夏の「七夕祭り」です。大東小学校の校庭に地区ごとに集合してから、子どもたちが笹飾りを手に持って大東の商店街を練り歩くさまは壮観でありました。今のようないきなり無かった時代でしたので、子どもごころにもわくわくしながら待っていた行事でした。中学校時代は、学校からの帰りに当時の大東町役場のそばに建っていた町立図書館に行く事が非常に楽しみでした。考えてみたらこの時代が一番よく本を読んでいたように思います。大東高校在学中の思い出は多々ありますが、晩秋の頃、校庭の銀杏がたくさん

実を付けていたので、友人と落ちた実を拾って、近くの小川で洗ってから持ち帰った事など思い出します。小学、中学、高校と全て徒歩通学でしたので、大東の町の四季の移り変わりをつぶさに感じる事が出来たと思います。



神戸裁判所本館前にて

今はお盆の墓参りなど年に1・2回、大東へ帰るだけになってしまいました。中学校が移転して、道路が新しくできたり、地域の施設が出来たりなど、大東の街が時代とともに変化していることを帰省する度に目にします。大東の商店街でも子どもの頃はたくさんあったお店が閉めてしまっていることも時代の変化の一つだろうと思っていますが、思い出の場所が少しずつ無くなっていることに寂しさも覚えます。

神戸では北を見れば六甲の山々、南には海が見られます。今はちょうどツツジのシーズンで、咲き乱れる花々に「癒やし」をもらいながらマスクを付けて散歩したり、野球の阪神戦での糸原選手の活躍を応援したりの生活を送っています。至る所に置いてある消毒液を手につけながら、一日も早く安心して行動が出来る日が戻ってきて欲しいものだと切に願っている毎日です。



サアー 体を動かそう!!

大東地区体育協会会長 福間 清



(絵:大東町東町北 細田 滋)

この度、大東地区体育協会の役員改選において会長を拝命しました。微力ではありますが大東地区の体育事業が円滑にできるよう尽力していくつもりであります。

さて、昨年度はコロナ感染拡大により、すべての体育行事が中止になりました。これは、今までに例をみないことでありました。今年度に入り感染対策をしながら、少しずつ雲南市においても、いろいろな事業が再開されようとしています。

大東地区体育協会でも、役員会を開催し前向きな意見交換を行いました。そこで、コロナウイルスの感染を心配しながらも、感染対策を十分に施し、また、要項等見直し(開・閉会式の省略、人数制限、種目削減)事業を進めることにしています。スポーツを通じて地区の皆さん方が親睦を深め、楽しい時間が過ごせるよう計画していきたいと思っています。

ただ、今年度の事業については、近隣のコロナ感染状況をみながら柔軟に対応していくつもりです。

大東地区の皆さんには、体協事業にご理解をいただきご協力をよろしくお願い申し上げます。



この人に聞く

はやかわ みつゆき
早川 光幸さん
(北町自治会)



牛を乗せた宝船

玄関を入ると自作の竹細工が所狭しと並び、再来年の干支ウサギの置物も歓迎してくれます。囲炉裏端のミニチュアも懐かしき愛唱歌「里の秋」「冬の夜」を連想させてくれます。趣味も多い中、人の心を引く竹細工も手掛ける早川光幸さんを訪ねました。

Q 近年、竹細工の作品を手掛けていますが「どげしたもんですか?」

子どものときから何でも分解したりそれを組み立てたりすることが好きでしてね、まだ勤めとる頃にネットで竹細工の画面を見て「面白そーだなあ」と道具を揃え退職したら本気でやってみようと思った訳です。

Q それにしても12支(干支)を始め、灯ろう、囲炉裏、築山、門松、小動物等色々見ているのぼのする作品がありますか?

近所の大工さん、田部先輩と一緒に「あげだ、こげだ」といいながらお互い切磋琢磨しながら挑戦しちょーます。ネットを見たり、旅した時に工房を訪ねたり、今度は、何に挑戦するか話し合ったりしています。一心不乱で取り組めるのがいいです。

Q 北町とんど祭り保存会長としての抱負は?

自治会のとんど祭りが再開して来年50周年を迎えます。伝統行事を守り継続していくには皆の協力が不可欠です。先人に感謝をしながら頑張ります。宮御輿を担ぎ、祝い唄を歌い町内を練り歩く。ずっと続けたいですね。一緒に祝い唄を歌いませんか?

Q 北町は、老人会も賑やかで活動も盛んですが若手役員の一人としての思いは?

高齢者だからこそいつまでも元気で暮らせるようペタンク等軽い運動をして皆で楽しめる会にしたいですね。北寿会(北町老人会)は、本当に楽しい組織です。ペタンクも勝敗は別にして運動不足の解消、ストレスの発散、皆とのコミュニケーションが図れる大切な機会だと思っています。

各種大会でいつも上位入賞の秘訣は?と聞くと、「先ず楽しむこと、それと試合の後の直会のことを思って無欲でやれば自然とうまいこといくもんです。」だそうです。流石!!

Q 料理も得意と聞きましたが?

小学生の家庭科の時間に料理をつくったのがきっかけで好きになりました。作れるものは決まっていますけどね。

いやいや、味付けも抜群、

「みつっあんが作られたモンはまいがー」

「おっしえてもらわんといけんわー」と主婦にも大評判ですよ。自作のおでんもすごく美味しい。

Q ソバ打ちも職人肌?

ソバ打ちは、本職さんの声掛けて始めました。「北町祭り部業所」というグループで見よう見まねで始めて今日まで来ました。

道具にもこだわりがあり、打つのも早いきれいなソバが出来上がります。一度食してみれば分かります。

可愛いお孫さんが小学校から帰る頃になると落ち着きません。大事な仕事や付き合いを断ってでも迎えに出掛ける若くて優しいおじいさん。人からの頼みごとは殆ど断りません。長身を活かし高いところの仕事はお任せ、細かい仕事も簡単にこなします。

「囲炉裏のミニチュアを作ったので今度は本物を作って仲間と一緒に一杯やりたいねー。」と微笑みます。

その時は、是非声をかけてね。

(記、西村 武)



福祉委員会では、ヘルスケアトレーナー栗玲子さん(西町在住)のエアロビクスをYouTubeに立ち上げました。



チャンネル名は、「大東を元気に!大東で元気に!」

URLは、<https://bit.ly/2Pp880P>



コロナ禍で運動不足になりがちですので、この動画を見ながら体を動かしてみませんか。

郷土の暮らしと文化

新庄山尾谷たたら

大東町幡屋 田部井勇夫 (旧姓：福間 新庄西出身)

最近「山陰中央新報」や「週刊さんいん学聞」で鳥根のたたらについてたびたび掲載されるようになり、子どもから大人まで少なからぬ関心をお持ちではと思います。むかし大東町内だけでも大小70数ヶ所でたたらに関連する遺構や遺物が確認されているようですが、そのうち大東地区内でも新庄山尾谷たたら^{テツザン}の他5ヶ所で鉄滓(てっさい・かなそく)などの遺物が確認されています。

さて、新庄の山尾谷でむかしたたらが行われていたことを知る人は大東地区でも少ないようです。それはよく知られている吉田町菅谷高殿たたら^{テツザン}の寛延4年(1751年)や奥出雲町櫻井たたら^{テツザン}の安永5年(1776年)より100年近くも古い、江戸初期の寛文4年(1660年)から正徳31年(1746年)頃のことですから、当然のことなのでしょう。

山尾谷たたら跡は県道大東松江線の新庄東、旧岩田店入口から3.8キロ、山王寺から1.8キロ下った地点の山尾谷川源流と交わる地点でたたら業を始

めていたと伝わる場所があります。

また「神社古記録」によると、福間重賢という者が新庄山尾谷において砂鉄事業を営み、これが成功し寛政13年(1671年)に独力で新庄の鏡神社を建立したとする記録が残っています。しかし繁栄していたと伝わる新庄山尾谷たたらも正徳6年(1716年)ごろからたたらを維持するための莫大な炭山と資金(鐵山)が不足し廃業に追い込まれたような記事があります。

また、「広瀬町史」に“慶長10年(1606年)藩主堀尾吉晴公富田城を廃止し新たに松江市街の建築起こりて当地方の樹木払底し新庄等のたたらはこのため廃業し富田城下は大いに衰へ原野と同様となり里人嘆息して歌を作って曰く「思ひも寄らずの松江が出来て富田は野と成る山となる」”との記述があります。

私は、戦争中の昭和19年ごろ親父に連れられて新庄山尾谷のたたら跡地だったと伝わる場所界隈へ牛用の山草刈によく行きました。その頃には沢山のたたら屑(かなそく)がゴロゴロしていましたが、昭和39年の大水害や町道山尾谷線の改良工事などにより、今では鉄穴流し跡の水路跡だったとも伝わる場所は勿論、たたら屑さえ探すのは困難な現況です。

しかし、今でも私の実家では恵比寿大黒を祀る神棚に初花(たたら操業で最初に抽出した銑鉄)が祀られ、その面影がうかがい知れます。雲南市でもたたらについてはまだまだ未知なことが多く、昨年発足した“雲南市たたらプロジェクト会議”による調査で新しい発見があるのではないかと期待しているところです。(参考図書：大東町地蹟)



福間家に金屋子神として祀られている初花 (写真右端)

あいあい募金

ご寄付に感謝致します

- | | |
|--|--|
| <p>香典返し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(西本町) 青木 伸次様 ・(北町) 深田 幸悦様 ・(東町北) 山本 幹夫様 ・(北町) 坪倉 孝次様 ・(東町北) 梶 静典様 | <p>見舞返し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(北町) 深田 幸悦様 ・(大木原) 上代 昇様 |
|--|--|

皆様からお寄せいただいたご寄付は地域の絆を深め、支えあう活動に対する補助金等に活用させていただいております。

大東地区振興あいあい募金運営委員会 (TEL: 43-2130)

令和3年4月末現在の人口・世帯数 ()内は対前々月比

項目	雲南市	大東町	大東地区
総人口	36,796人 (-191人)	11,750人 (-32人)	3,462人 (±0人)
男性	17,751人 (-94人)	5,725人 (-8人)	1,670人 (+6人)
女性	19,045人 (-97人)	6,025人 (-24人)	1,792人 (-6人)
世帯数	13,705世帯 (+16世帯)	4,151世帯 (+5世帯)	1,273世帯 (+14世帯)
高齢化率	39.71% (+0.18%)	39.42% (+0.05%)	—

資料：雲南市HPより